

県境不法投棄現場環境再生・提案一覧(1/3)

(テーマ別、敬称略)

区分	NO.	提案者名	所在地等	テーマ	提案の骨子	部会選定提案	参考提案
地域づくりに活かしていく自然	1	(株)アイ・シー・エフ	岩手県八幡平市	自然との共生	跡地の全面積を森林公園とする(参考ドイツのシュバイツバルト)。建物、道路等につくらない。自然界の水の浄化システムを再現し、一部に農畜産物の見本園を設置する。		○
	2	八戸市森林組合	青森県八戸市	自然配植の考え方に基づく県民参加型自然再生	「田子町が集約した意見」に基づき、広葉樹薪炭林の再生に留まらず、今後期待される経済価値の高い森林資源の創出の可能性を求め、地域生態系の構成樹種の中から潜在自然植生となる樹種をできる限り多く抽出適用する自然再生型の緑化を行う。緑化事業は、専門家指導型の一般市民参加植樹イベントの形をとり、研究団体(3団体)のボランティアな協力体制が可能。	◎	
	3	井口昭則	宮城県仙台市	山林再生	観光農園的な栗狩りを兼ねた、森林(林)として再生する。地元の小・中学校、老人ホームの方々に植林、維持管理の手助けをしていただき、実った栗は活動の成果・報酬として参加者が自由に収穫できる(記憶の現場に足を運ぶきっかけ)。		
	4	小竹茂夫	東京都港区	ひとつの手で壊した自然はひとつの手で回復、とのメッセージを発信	人の生活の影響が及びにくい土地の特性を生かし、青森県の絶滅危惧種や希少動植物(植物、魚類、爬虫類、両生類、昆虫類)の保護区、保護施設をつくる。		
	5	齋藤拓也	青森県青森市	地域環境ポータルサイトを軸にした現場再生	インターネットを使い、①地域の総合的環境情報を提供し、②サイトを見た人が環境再生活動に参画できるシステムを構築・運営する。具体的には、サイトの「エコノキ」に葉を付け(クリック募金制度を導入)葉が200枚付く毎に一本の木となりそれがたまと森ができる。サイト上で木や森が育つとともに、現実世界でも葉が200枚付く毎に木が一本植樹できる。植樹はイベント形式で行う。		○
	6	下田武夫(アトリエ無久)	青森県八戸市	記憶の保存と記録の保存	不法投棄以前の人々の記憶に残る風景にできるだけ戻す。要望があれば農地として民間に払い下げ、要望がない場合は植林し山林とする。簡素な展望台を整備し、浸出水処理施設は利用する。不法投棄と環境再生に関する全ての成果と記録を田子町図書館で公開する。		○
	7	中村朋明	新潟県新潟市	(ローコストオペレーションで公園に)	跡地を公園(コスモスやチューリップの草花や木々を植え池なども作る。)にする。全国からボランティアを募集し公園作り、管理に参加してもらう。		
	8	松原芳雄	青森県三戸町	(土壌汚染排除等のため、各種広葉樹の森に)	広葉樹(①土壌汚染を排除する木としてあかしや、はんの木、柳、②花が咲き実を結ぶ木として栗、くるみ、栃、朴、山桜、まだの木、榆、栓、槻、岩手県側を含む場合は漆)を植樹し、「縄文の森」と称する。広葉樹の機能がどれほど自然環境に果たされているか実験の場とする。		
	9	山口義三	青森県十和田市	現場の原状回復(国民参加による落葉広葉樹の植樹)	落葉広葉樹を植樹する。苗床は地元から、全国から希望者を募り(田子町小・中学生も)植樹祭の形で。現場や資料を展示し一般公開する。浸出水処理施設等は一定期間活用。		

県境不法投棄現場環境再生・提案一覧(2/3)

(テーマ別、敬称略)

区分	NO.	提案者名	所在地等	テーマ	提案の骨子	部会選定提案	参考提案
生活関連の場	10	(株)奥村組東日本支社環境技術部	東京都港区	自然林の再生と環境教育	風力、太陽光、バイオマス(家畜糞尿)による発電施設を設置し、自給自足を目指す新エネルギータウンとする。環境教育ができる施設を設置、他は落葉広葉樹の自然林とする。		
	11	東急建設(株)	東京都渋谷区	資源循環型によるエコアグリカルチャー	「田子町地域新エネルギービジョン」を踏まえ、バイオマス燃料施設(0.5ha、30t/日処理)を設置し、創出されるエネルギーを農業ハウス(1ha、階段状に設置)で利用、余剰分は販売する。緑地(8ha、竹林)を再生し、木質バイオマス資源として活用。バイオマス燃料施設は、将来的に水素ガス精製に切替えを予定(ブルータワーシステム)。国の補助金を活用。	◎	
	12	NPO・最終処分場技術システム研究協会	東京都港区	環境調和型リサイクル施設と四季公園	社会インフラの有効活用として、掘削空間・堰堤・水処理施設を利用して循環資源リサイクル施設へ改編し、有機性廃棄物のバイオ燃料化施設を建設する。集客施設として公共四季公園、保養施設、アクセス道路を整備する。風力発電・太陽光発電施設を設置し、敷地内施設へ電源供給する。環境学習の場として環境資料館を設置する。	◎	
	13	梅沢信市	青森県田子町	限りある資源を大切にしよう(循環型社会)	油化プラント工場を建設し、公害学習教室、風力発電施設を併設する。		
	14	菅原耕二	愛媛県松山市	集成の宿	誰にも迷惑をかけず安楽を迎えることができる温泉施設(長屋式、木造、バリアフリー)を設置する。中高年者を雇用。		
	15	野崎巖	高知県高知市	間伐材からバイオマス燃料を抽出する研究機関の設立	高知県梶原町にて実施されているバイオマス燃料への取り組みを導入・改良・発展させる。風力発電や太陽光発電なども検討。		
	16	林吉男	新潟県五泉市	(①太陽光発電施設 ②針葉樹と広葉樹を混合植林)	①県が事業主体となり、太陽光発電施設を設置する(国は太陽光発電施設設置の半分を補助する制度を設けると聞く。)②県が実施主体となり針葉樹と広葉樹を混合して自然的な植林をし、原状回復して「仮称、記念県民の森」的な位置付けをする。(①が②に優先)		
経済	17	建設資材開発協同組合	埼玉県熊谷市	地力活性材による農作物栽培一大産地化	当組合が開発商品化した「地力活性材」を土壤に繰り返し散布することによって、汚染を除去し農作物の栽培地とし、ニンニク、リンゴ等の農産物の一大産地とする。		

県境不法投棄現場環境再生・提案一覧(3/3)

(テーマ別、敬称略)

区分	NO.	提案者名	所在地等	テーマ	提案の骨子	部会選定提案	参考提案
教育・文化・交流の場	18	慶應義塾大学 藤倉研究会	神奈川県藤沢市	環境再生博物館でアートで発信	①全国・世界の不法投棄の情報拠点、②不法投棄の体験、③埋立技術の研究の機能を有する環境再生博物館を設置し、若手芸術家の創作拠点を隣接設置する。年に数回のコンサート等の文化行事を開催する(参考ドイツのフォルクリンゲン鉄工所)。	◎	
	19	八戸工業大学	青森県八戸市	教訓を次世代に語り継ぐ「県境環境再生記念公園」	芝生・桜・広葉樹の植樹(桜・広葉樹はオーナー制)により緑地化し、付帯設備は駐車場及び展望台のみとする。浸出水処理施設を、環境教育・啓発と情報発信の拠点となる環境再生資料館とする。緑地と資料館の間に遊歩道を整備し、現場の一体化を図る。田子町・二戸市の各種施設と観光連携(相互案内、広報、誘導)。	◎	
	20	緑化運動研究会	青森県青森市 京都府京都市	「持続可能生活モデル村」の構築	居住施設・農地・森林等から成る「居住型モデル村」を整備して、居住者が、地域で培われてきた持続可能な生活技術を活用しながら、外部からの食料・エネルギーの投入に頼らない「持続可能生活」を実践する社会実験を行うことにより、国内外に対して、不法投棄の根本にある「大量消費社会」を改め、「循環型社会」を実現するよう強く訴える。		
	21	白坂友三	鹿児島県肝付町	あおもり環境まなぶ館	負(マイナス)の面だけでなく陽(プラス)の面を取り上げ環境問題に関する講座、イベントなどを開催する施設を建設し、長期的に忍耐強く教育を継続する。		
	22	関田光子	高知県いの町	再生を考える(循環型。いこいとだんらん。昔の生活。)	「循環型、日本一」(木材チップの燃料化)。夏、木、原っぱ、プール。冬、スキー。(高一の時の修学旅行の始まりが青森県)		
	23	吉田	岩手県	「源氏の庭」の再現	青森の名所にとどまらず日本を代表する名所になるような庭園(全国の巨匠といわれる庭師を集めて彼らの集大成ともいえる壮大な庭)をつくる。源氏物語を世界に広げるきっかけに。		